

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年41週 (10月2週 10/9~10/15)

2017年9月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症、インフルエンザ、集団かぜの発生、結核、梅毒、ペストに係る注意喚起、最近報告された麻疹患者に関する医療機関への注意喚起
 病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(18)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、レジオネラ症(4)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(6)、風しん(1)、薬剤耐性アシネトバクター感染症(1)

2017年9月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

RSウイルス感染症(図1)

41週の定点当たり報告数は1.02、40週241人、41週185人(うち0歳78人、1歳56人)で、2歳未満の報告数が全体の72.4%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症が流行しています!

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000016941.html>

RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

インフルエンザ

41週の定点当たり報告数は0.16、40週43人、41週31人です。

【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

集団かぜの発生について

【参考ページ】集団かぜの発生について(2017-2018シーズン)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf>

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html>

結核(図2)

2017年41週までの累積報告数は、10月18日現在1,195件(うち無症状病原体保有者は330件)です。2016年41週までの累積報告数は1,433件(同383件)、2016年総計は1,740件(同444件)です。

梅毒(図3)

2017年41週までの累積報告数(診断週集計、10月18日現在)は267件(男185件、女82件、うち先天梅毒1件)と、2016年総報告数259件(男189件、女70件)を上回っています。全国の2017年40週までの累積報告数は4,345件です(2016年総報告数は4,559件)。

ペストに係る注意喚起について

マダガスカル共和国の都心部を含む複数の地域において肺ペストが発生していると発表されました。

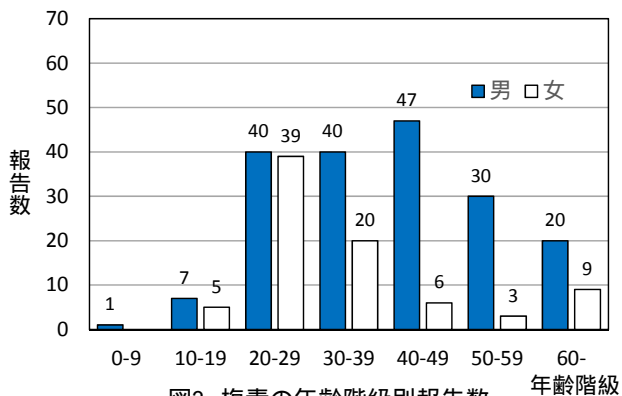
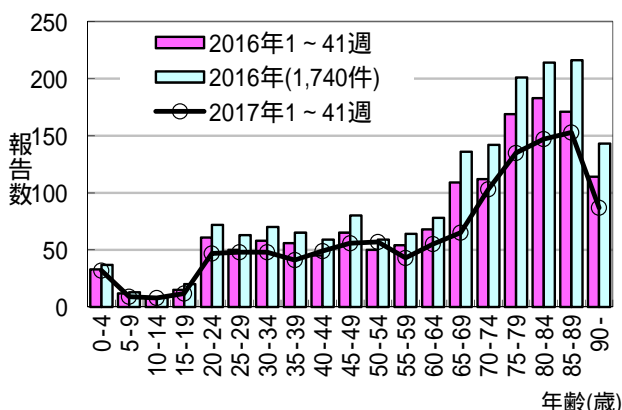
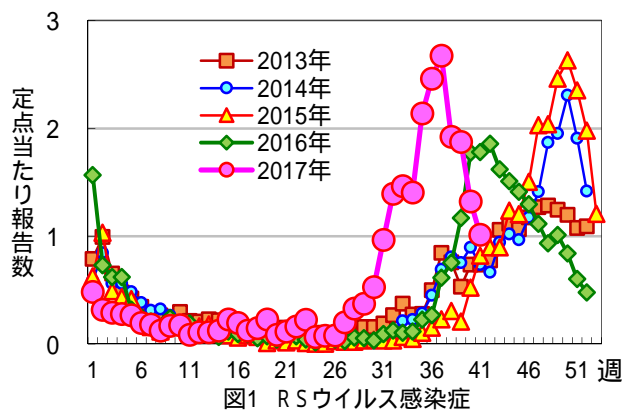
【参考ページ】ペストに係る注意喚起について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000179885.pdf>

最近報告された麻疹患者に関する医療機関への注意喚起(平成29年10月11日現在)

【参考ページ】国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/7596-measles20171013.html>



病原体検出情報 2017年疾患別ウイルス検出速報 (2017年10月16日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ		** 麻疹・風しん
								2017/2018 シーズン	2016/2017 シーズン	
患者数	175	109	25	18	1	14	16	5	605	9(8)
CV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	1	43	8	-	-	1	-	-	-	-
CV-A10	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
CV-A16	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-
CV-B2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
E-3	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
E-6	1	-	-	-	-	1	-	-	2	-
E-7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E-9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	-	422	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-
HPIV-2	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1 [#])
Rota A G1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	21	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Rota A G8	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	38	1	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	3	1	-	3	-	-	-	-	1	-
Ad-2	10	-	-	4	-	-	-	-	1	-
Ad-3	2	1	-	6	-	-	-	-	1	-
Ad-5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-31	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
検査中	8	14	6	0	0	3	1	4	2	0(1)
陰性	46	29	5	2	1	6	13	0	92	9(6)

*インフルエンザは2017/2018シーズン(2017年9月～)及び2016/2017シーズンの結果

**麻疹・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲 #ワクチン株1名

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HRV: ヒトライノウイルス、MeV: 麻疹ウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、SV: サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

2歳女 RSウイルス感染症 【一宮市 後藤小児科医院】 感染性胃腸炎やや目立ちます。 水痘 3名 【江南市 みやぐちこどもクリニック】 インフルB 1例(前週のインフルBの兄弟) RS 散発 【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】	手足口病が8件、溶連菌5件、アデノ2件、 インフルエンザは0件 手足口病がまたちょっと増えた印象です。 【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】 アデノウイルス感染症 6歳男 45歳女 マイコプラズマ感染症 【清須市 丹羽医院】
---	---

尾張東部地区

水痘 (5歳男)ワクチン接種1回 (4歳女)ワクチン未接種 その他マイコプラズマ肺炎等 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】 インフルエンザA型 1名 【長久手市 医療法人水野内科】 インフルエンザ陽性報告なし RSV 以外は落ちついています。 【春日井市 春日井市民病院】 溶連菌少々 【春日井市 朝宮こどもクリニック】	感染性胃腸炎散発 普通感冒多い 【南知多町 医療法人大岩医院】 RSウイルス 5名 【大府市 まえはらこどもクリニック】 RSウイルス感染症 5名(9か月 1名、1歳 3名、2歳 1名) カンピロバクター腸炎 1名(9歳) 【東海市 もしもしこどもクリニック】
--	--

西三河地区

RSV(+) 2歳女 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】 マイコプラズマ 20歳以上1名男 【豊田市 わかぞの東洋クリニック】 マイコ核酸検出 9歳 1人女 【豊田市 すくすくこどもクリニック】 インフルエンザ陽性A型 3名 【豊田市 足助病院】 3歳女 サルモネラO7 【岡崎市 にいのみ小児科】	手足口病小流行あり 【岡崎市 花田こどもクリニック】 マイコプラズマ感染症 4歳女 5歳男 11歳女 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】 RSウイルス感染症 3名 アデノウイルス感染症 4名 【知立市 宮谷クリニック】 インフルエンザB型 1名 【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
---	---

東三河地区

8歳女 カンピロバクター腸炎 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】	カンピロバクター 2名 【蒲郡市 畑川クリニック】
--	------------------------------

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年10月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年41週報告数			2017年総計(1～41週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	5		3	456	99	110
豊田市				48	12	9
豊橋市				48	9	16
岡崎市				35	14	11
一宮	3	2	1	86	30	31
瀬戸	2		2	82	10	32
半田				51	12	17
春日井	5	2	2	99	21	35
豊川				31	13	3
津島				71	9	21
西尾				19	7	2
江南				36	10	8
新城				4	2	1
知多				39	16	11
清須	1	1		27	11	6
衣浦東部	2	1		69	13	21
合計	18	6	8	1,201	288	334

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	2歳	男	10/4	10/6	10/12	O26、VT1(+)
2	名古屋市	34歳	男	10/3	10/4	10/10	O157、VT2(+)
3	豊田市	45歳	女	10/9	10/11	10/12	O血清型不明、VT1(+)
4	瀬戸	44歳	男	-/-	10/10	10/10	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	70歳	女	肺炎型	国内
2	江南	78歳	男	肺炎型	大韓民国
3	知多	67歳	男	肺炎型	国内
4	衣浦東部	82歳	女	ポンティアック熱型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	瀬戸	85歳	男	以前からの保菌	国内	無
2	瀬戸	86歳	女	その他	国内	無
3	衣浦東部	54歳	男	手術部位感染	国内	有
4	衣浦東部	67歳	男	手術部位感染	国内	無
5	衣浦東部	73歳	男	以前からの保菌	国内	無

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	19歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	74歳	女	無	国内
2	衣浦東部	70歳	女	有	国内
3	衣浦東部	80歳	男	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	19歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	25歳	女	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	45歳	男	早期顕症	不明	国内
4	名古屋市	23歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	19歳	男	無症候	性的接触	国内
6	豊橋市	41歳	男	晩期顕症	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	瀬戸	1歳	男	無	国内

薬剤耐性アシネトバクター感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	一宮	70歳	男	院内感染、 医療器具関連感染	ベトナム	有

2017年9月報

(2017年10月17日現在、診断週に基づく集計)

9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲]

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2017年9月			2017年	2016年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	74 (23)	44 (12)	118 (35)	1,142 (316)	1,740 (444)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	9 (2)
腸管出血性大腸菌感染症	14 (4)	11 (3)	25 (7)	142 (31)	160 (53)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (2)
四類 (44) E型肝炎	0	0	0	6	5
A型肝炎	0	0	0	6	5
エキノコックス症	1	0	1	1	0
オウム病	0	0	0	2	1
ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
チクングニア熱	0	0	0	0	3
つつが虫病	0	0	0	0	3
デング熱	4	1	5	18	20
日本紅斑熱	0	0	0	0	1
ブルセラ症	0	0	0	1	0
マラリア	0	0	0	1	1
レジオネラ症	6	3	9	79	97
五類 (22) アメーバ赤痢	3	1	4	47	68
ウイルス性肝炎	1	1	2	6	5
内訳					
B型	1	1	2	6	4
その他	0	0	0	0	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	10	3	13	75	76
急性脳炎	0	1	1	31	39
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	3	10	13
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	28	26
後天性免疫不全症候群	3	2	5	51	99
内訳					
無症候性キャリア	2	2	4	28	64
AIDS	1	0	1	20	32
その他	0	0	0	3	3
ジアルジア症	0	0	0	1	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	1	26	25
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	2	6
侵襲性肺炎球菌感染症	7	3	10	162	156
水痘(入院例に限る。)	1	0	1	12	14
梅毒	16	17	33	256	259
内訳					
無症候	3	7	10	78	69
早期顕症	13	10	23	171	181
晩期顕症	0	0	0	6	9
先天梅毒	0	0	0	1	0
播種性クリプトコックス症	0	0	0	9	11
破傷風	0	0	0	6	5
風しん	0	0	0	1	20
麻しん	0	0	0	1	5
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	2
総計	143	89	232	2,134	2,890

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2017年9月			2017年累計		2016年総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県全体	愛知県全体		愛知県全体		
				合計	合計	合計	合計	
性感染症定点	性器クラミジア感染症	男	37	66	103	670	905	1,555
		女	32	22	54	501	650	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	10	13	23	176	231	633
		女	18	8	26	234	402	
	尖圭コンジローマ	男	6	16	22	158	207	313
		女	4	2	6	79	106	
	淋菌感染症	男	19	33	52	352	483	554
		女	4	1	5	51	71	
基幹定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		54	21	75	756	957	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		19	3	22	116	102	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		1	0	1	2	0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

グラフ総覧

2017年41週(10月9日～10月15日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年41週までの定点当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

